こんにちは、
日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会☎ 353-6311 自宅☎(F 兼)691-3323 （携帯） 090-7880-9442
日本共産党京都市会議員団 ☎２２２－３７２８ FAX ２１１－２１３０
市会議員団ホームページ http://cpgkyoto.jp/ E-mail info@cpgkyoto.jp

２０２２年２月２０日

梶川憲さんが出馬表明

今春の京都府知事選挙に、労働団体「京都総評」議長の梶川憲さんが出馬表明、共産党も推薦を決定。小学校の先生や教職員組合役員などを歴任。働く人たちの生活向上は勿論、野党共闘推進を目指して頑張っておられます。

市長、来年度市予算案を提案

１７日、市長が、議会に対し、来年度京都市予算案を提案しました。議会の各党代表質問や予算委員会などでの議論を経て、３月下旬、採決の予定です。予算の分析はこれからですが、とりあえずの特徴について紹介します。特にこの機会に、市政に対するご意見ご要望など、是非お寄せください。

「財政危機」の独り歩き!?

「財政」でなく「財政危機」論の破綻

●枕詞の如く「お金がない」の連発。しかし実際は「来年度の一般財源収入は前年度予算から56億円増」、昨年には「毎年五百億円赤字」と言っていたのに、今回は「百十七億円不足」と大幅に「改善」。「収入面において、コロナ禍の影響は当初の想定より小幅」「国からの地方交付税交付金は増額」等々。現状の変化にかかわらず枕詞だけが独り歩き。

●「お金がない」と言いながら、いくらかかるか分からない北陸新幹線は促進。油小路通り地下トンネル計画にも固執などムダな大型事業は推進。

●「お金がない」と言いながら、大企業や富裕層からの税収増の視点は無し。「危機」の大きな要因である国への要望活動も決意無し。

●ワクチンは進まず、検査も不十分、保健所の職員は長時間過密労働で大変なのに、一方、市民の不安に十分応えきれない、等々、不十分なコロナ対策。キメ細かい対応めざし、保健所を各区に戻すべき。

●国民健康保険料や後期高齢者医療保険料の値上げ。

●敬老乗車証・学童保育料などの昨秋の改悪が、今回、予算減額という形で具体化される。

●保育園職員の賃金補填予算も減額。

●動物園入園料や人まち交流館、深草墓園など、各施設の使用料・利用料等々、また高齢者インフルエンザ予防接種料金等の軒並み値上げ。

●猫も杓子も「民間へ民間へ」とばかりに、市民の為の公の仕事を民間へ。経費節減の為というより、民間大企業などに営業の場を提供、市民の権利を営利の対象に差し出す。

●子ども医療費助成制度や中学校給食など、市民要望が強いのに、何ら進展なし。

最近の相談から

◎コロナワクチンの３回目の案内がきたが、いつどこで打ってもらえるのかが分からない。行きつけの医者はない。

◎子どもが２人いるが、一人にはプレゼントしてきたので、遺産はもう一人に限定したい。

◎身に覚えがないのに請求書が送られてきた。無視するか、時効援用通知書を返送するか。

市幹部、逮捕される!?

新聞報道によると、「２月８日、京都府警が受託収賄の疑いで京都市子ども若者はぐくみ局長を逮捕」とのこと。３年前、約４５万円相当の腕時計を受け取った疑いと報道されています。時計を贈ったのは、保育園を運営する法人の役員で、園運営について便宜を求め、この役員も贈賄の疑いで逮捕された、とのことです。

詳細は不明ですが、「現職局長の逮捕」自体は事実であり、日本共産党市会議員団は、「前例のない事態であり、市長は今回の事件の全容と真相を明らかにし、市民と議会に説明すべき」「重大な疑惑を引き起こしたもとで市民負担増をめざす『行財政改革計画』を進めるべきでない。民間保育園への補助金削減などの計画は、いったん中止して再考すべき」との団長談話を発表しています。